

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	基礎看護学		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護基本技術 I (環境調整)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 <small>時間(単位)</small>
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	1年生の教室及び実習室
担 当 教 員	田村 美紀	実務経験と その関連資格	病院等で9年勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>看護技術とは、対象によりよい看護技術を提供するために習得すべき技であり、その体系である。看護学の入り口として、看護技術の重要性について学ぶ。すべての看護展開の基礎となる看護技術の内、対象理解及び人間関係構築の土台となるコミュニケーション技術、人間の健康に影響を及ぼす環境とその調整方法について学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>終講試験 (15%) 及び 技術実技試験 (20%)、課題・授業態度 (15%) で総合的に評価する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>志々岐康子・松尾ミヨ子 ナーシンググラフィカ基礎看護学③ 看護技術 (デジタル版) フロレンス・ナイチンゲール(著) 湯楨 ます他 看護覚え書—看護であること看護でないこと</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>・講義、演習は予習を前提として行うため、事前課題に必ず取り組んだうえで授業に臨むこと。 ベットメイキング、リネン交換、環境整備の技術習得には、各自で計画し、自主的な技術練習が必要です。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>技術実技試験に合格するまで行います。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間にとっての環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整えるための知識を習得する	教科書 P.96- 予習課題	予習課題を完了のこと	
		各コマにおける授業予定	環境の意義			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	患者を取り巻く病床環境について説明ができる	教科書 P.98- 予習課題(技術ノート作成)	予習・復習課題を完了のこと	
		各コマにおける授業予定	環境を整える技術 病室の環境と病床内環境			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ナイチンゲールの看護覚え書から看護およびその環境について理解を深める	看護覚え書 P.13- 予習課題	予習課題を完了のこと	
		各コマにおける授業予定	看護覚え書 序章から第9章			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ナイチンゲールの看護覚え書から看護およびその環境について理解を深める	看護覚え書 P.149- 予習課題	予習課題を完了のこと	
		各コマにおける授業予定	看護覚え書 第10章から補章			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	快適な環境を整えることができる	教科書 P.101 予習課題(技術ノート作成)	予習・復習課題を完了のこと	
		各コマにおける授業予定	病床を整える技術 ベッドメイキング			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	快適な環境を整えることができる	教科書 P.101 予習課題(技術ノート作成)	予習・復習課題を完了のこと
		各コマにおける授業予定	病床を整える技術 ベッドメイキング		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康が障害されると、生活していた環境の変更を余儀なくされる。そのような人に闘病意欲を高める環境が提供できる	教科書 P.103 予習課題(技術ノート作成)	予習・復習課題を完了のこと
		各コマにおける授業予定	臥床患者のリネン交換		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康が障害されると、生活していた環境の変更を余儀なくされる。そのような人に闘病意欲を高める環境が提供できる	教科書 P.103 予習課題(技術ノート作成)	予習・復習課題を完了のこと
		各コマにおける授業予定	臥床患者のリネン交換		
第9回					
第10回					
第11回					
第12回					
第13回					
第14回					
第15回					